

努力賞

だいじょうぶ　だいじょうぶ

峡田小学校　三年　佐々木　結理

やなぎ田先生こんにちは。

やなぎ田先生は、おじいちゃんとどんな思い出がありますか。このお話は、おじいちゃんに見守られてきた男の子が、少し大きくなって今度は自分がおじいちゃんを見守るというお話です。

わたしにもこの本のようにやさしいおじいちゃんがいいます。お母さんがはたらいているため、わたしは毎日学校からおじいちゃんの家にかえります。おじいちゃんがいつも

「お帰りなさい。」と言ってわたしをむかえてくれます。おじいちゃんの声を聞くとほっとします。

わたしのおじいちゃんは、わたしにたくさんのおしえてくれます。

紙ひこうきやおふねの作り方をおしえてくれたり、ざりがにのとり方もおしえてくれます。

また、くつはきちんとそろえなければいけないとか、へんじは、

「はい。」と言いなさいなどたくさん注意もされたりします。わたしはおじいちゃんが大好きです。

わたしがじしんやかみなりをこわがっているとわたしをだきよせて

「だいじょうぶ　だいじょうぶ。」と言ってくれます。

わたしが、ふ安なとき、おまじないのような言葉をいって安心させてくれます。

やなぎ田先生もだれかにおまじないのような言葉をいってあげたりしますか。

元氣だったおじいちゃんもさいきんは、びょう気にかかり入いんしたりします。こんどは、わたしがこの男の子のように手をとって「大じょうぶ　大じょうぶだよ。」と、おまじないの言葉を言ってあげたいです。